

第7次国有林野施業実施計画書

(奥久慈森林計画区)

自 令和8年4月1日
計画期間
至 令和13年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4	林道等の整備に関する事項	9
5	治山に関する事項	11
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	12
(1)	保護林の名称及び区域	12
(2)	緑の回廊の名称及び区域	12
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	12
8	レクリエーションの森の名称及び区域	13
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項	16
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	16
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	16
10	その他必要な事項	17
(1)	施業指標林、試験地等	17
(2)	フィールドの提供	19
(3)	その他	19

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	20
(2)	機能類型別の国有林野の現況	22
(3)	林道等の現況	23
(4)	収穫予想表	23
(5)	地元施設等の現況	23

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	5,603.13	森林の管理経営の指針による	50
	ヒノキ分散伐区	2,667.30	〃	55
	アカマツ分散伐区	143.62	〃	50
長伐期	スギ長伐期	208.10	森林の管理経営の指針による	90
	ヒノキ長伐期	830.73	〃	90
	アカマツ長伐期	260.26	〃	80
複層林	スギ複層林	2,239.84	森林の管理経営の指針による	50(注2)
	ヒノキ複層林	390.76	〃	55(注2)
	その他複層林	401.26	〃	50(注2)
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	1,482.05	森林の管理経営の指針による	25
	天然生アカマツ分散伐区	445.61	〃	50
	天然林複層伐区	18.50	〃	65
	択伐	1,817.33	〃	回帰年は定めない
	その他	129.07	森林の管理経営の指針による	定めない
設定外(注1)		402.07		定めない
合計		17,039.63		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 複層林の上層木の伐採は下層木の植栽から20年以上経過してから実施する。

3. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	816	スギ分散伐区 ヒノキ分散伐区 アカマツ分散伐区
長伐期	74	スギ長伐期 ヒノキ長伐期 アカマツ長伐期
複層林	429	スギ複層林 ヒノキ複層林 その他複層林
天然林・その他	537	ぼう芽分散伐区 天然生アカマツ分散伐区 天然林複層伐区 択の伐他 その他
合計	1,856	

(注) 備考欄は、施業群の細分である。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分		林 地			臨時伐採量	計	林地以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計				
山地災害防止タイプ		4,203	22,262 (209.74)	26,465				
自然維持タイプ		—	—	—				
森林空間利用タイプ		—	—	—				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常伐期	スギ分散伐区	95,667	214,357 (2,002.25)	310,024			
		ヒノキ分散伐区	9,968	98,181 (1,007.57)	108,149			
		アカマツ分散伐区	20,920	—	20,920			
	長伐期	スギ長伐期	—	16,556 (156.77)	16,556			
		ヒノキ長伐期	4,288	43,164 (447.45)	47,452			
		アカマツ長伐期	—	9,187 (92.20)	9,187			
	複層林	スギ複層林	58,452	86,516 (808.36)	144,968			
		ヒノキ複層林	5,600	10,101 (101.31)	15,701			
		その他複層林	—	17,548 (176.93)	17,548			
	天然林・その他	ぼう芽分散伐区	67	—	67			
		天然生アカマツ分散伐区	445	649 (7.73)	1,094			
		天然林複層伐区	1,327	—	1,327			
		択 伐	1,611	341 (5.77)	1,952			
		そ の 他	—	225 (1.70)	225			
設 定 外		57,369	182 (3.27)	57,551				
計		255,714	497,007 (4,811.31)	752,721				
合 計		259,917	519,269 (5,021.05)	779,186	40,200	819,386	—	819,386
年 平 均		51,983	103,854 (1,004.21)	155,837	8,040	163,877	—	163,877

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
棚倉町	73,879	144,049	217,928			
矢祭町	66,846	73,341	140,187			
埴町	63,733	213,007	276,740			
鮫川村	55,459	88,872	144,331			
合 計	259,917	519,269	779,186			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	33.20	—	—	—	882.38	915.58
	複層林造成	14.92	—	—	—	280.20	295.12
	計	48.12	—	—	—	1,162.58	1,210.70
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	0.80	0.80
	天然下種第2類	—	—	—	—	5.26	5.26
	ぼう芽	—	—	—	—	103.68	103.68
	計	—	—	—	—	109.74	109.74
合 計		48.12	—	—	—	1,272.32	1,320.44

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	121.76	—	—	—	3,083.85	3,205.61
	つ る 切	17.25	—	—	—	388.86	406.11
	除 伐	17.94	—	—	—	406.60	424.54

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所在地 (林小班)	面積 (ha)
1 ろ1～は、へ、ぬ1、る1、る2	7,786.20
2 ろ1～は、ほ4、へ	
3 い1～は2、ほ1、ほ2	
4 い1、い2、ろ、ほ1～と1、と4～と6、ち、り3	
5 い1、い2、ろ1～は1、は4～ほ、へ2、へ4～へ13、と～ぬ3、れ1～そ、ね	
6 い1、ほ	
7 ろ、ほ～へ3、と2～わ	
8 い、と、ち	
9 い1～わ3、か1、か4、か6～か10、よ1～た2、た4～ね	
10 い1～り3、ぬ2、ぬ3	
11 い、は1、に、ほ1、ほ3、へ2、へ3、と1、と3～ち2、ぬ1、る1、る2、か、よ	
12 い2～ろ、は2～は6、へ、と3～と6、と8～ち2	
13 い1～い5、ろ1、ろ2、ろ4、ろ6、ろ8～は2、は4、は5、は8、は9、は12、は13、ほ2～へ、と2、と4、と8、と9、り～ぬ2、る	
14 い1～い5、は～ほ2、と～ち9、ち11	
15 は～ほ、つ	
16 い～ろ2、へ2、と、ち、る～わ2	
17 い、ろ4、は～ほ4、ほ6、ほ9～へ5、ち1～ぬ3	
18 い1～ろ2、は1～に4、へ1、へ2、へ5～ち2、り、ぬ2、た1、た2、そ1、そ3、つ1～つ3、つ6	
19 い1、ろ、に～ち1、り3、り4、る1、わ1～わ3	
20 い1～ろ、は2～は5、に1～ほ1、ほ3、り6	
21 い、ろ1、に4～へ1、ち	
22 い～へ、ち1～ち3、ち7、り	
23 い1、い4～は、ほ1、へ2、ぬ1、ぬ2、る2、わ1、わ2	
24 い2、い5、い6、ろ、ほ、へ3～へ7、と、ち1	
25 い2、ほ2～ほ5	
26 ろ、り1、り2、ぬ2、る2、か1、よ1、れ1、そ2、そ4	
27 い、ほ、り～ぬ4、た～そ1、つ、な	
28 ろ1、る3～わ2	
29 に1、に2、へ、ち1、わ1、そ1	
30 い1～い6、は～に2、に4、ほ1	
31 は1、に～と2、と4～と6、ぬ～わ、よ、そ2～つ4、ら、む1、う	
32 い～は、へ、と1、ち～り2、ぬ～る6	
33 ろ～は2、つ1、つ2	
34 い1、ろ1、ろ2、は～ほ2、へ1、ち1～り1、わ、よ、た、そ1～そ3、ね、う1、う3～う5、の1、の2	
35 い、ほ～り3、る1～わ	
38 い1～ろ、に4	
42 い1、い2	
47 い～は1、は3～ほ、と～ぬ、わ	
48 ほ、へ、ち	
49 い2、は、に3、へ、と、り～る1	
50 い～は6、ほ1～へ、ち、り、ぬ3～る3	
51 ろ1～ろ3、ろ5～に1、ほ1、ほ2、へ3、と1～と5、り1～り3	
52 い2～い4、ろ～に3、に6、に7、ほ、へ、と3～ぬ、る4、る5、た、そ、つ、ら、む1	
53 い2～い5、に2、か～た、そ2～の2	
54 い1～い3、る6、る7	
55 い、は、ほ1、ほ2、ほ4、ほ8、と2、と4、よ	

56 い1~に
57 い、に、ぬ、そ1、な、ら
58 い1、ろ1、ろ4、に
59 い1、い3、ろ3~に1、ほ、と1~る1
60 い1、ろ1~に2
61 い、に、ほ1、と、ち、る2、る3
62 い、ろ、る4、よ1、よ2
63 い1
64 と、り~ぬ2、る2~る4、か2、れ1~れ3、つ、ね3、ら、む
65 ろ2、に7、へ、ち
66 い1、ろ~に、ぬ2、そ、お、く、け1~け3
67 ろ、は、へ、か1~よ、む
68 よ1~よ3
70 い2、ほ、と、ち6~ち8、ぬ1~る1、か1~か4、れ、つ、ね1、く
71 い3、い4、へ5、へ6、と1、ち~ぬ1、か1、か2、た、ら
72 い1、い2、に1~に4、ほ1、へ~ち、ぬ~る2、る4、わ1、わ2、つ2、
つ3、つ5~つ7、ね~ら
73 い、に3
74 い1、は、へ1、ち~り2、ぬ3、ぬ4、る1、わ1、そ3、つ3
75 い、に、へ1、へ2、へ4
76 か1、よ、た2、れ、な1、な3、な4、ら
77 よ6
78 い1~い3、は8、に3、ほ2、ほ3、へ、と1、ち
80 い1~に、へ、ち1、り、ぬ、る3
81 ろ2、に、と、り4、ぬ、る
82 ろ、は、へ~と2
83 ろ、に、と2~ち、わ2
84 に2~に4、ほ3~ほ6、か5、れ、つ、ね
85 ろ、は
86 い~は、へ2、へ3、へ5、ち1、り1、り2、ぬ1~る1、か、た3、れ1、
な
87 は
88 い1~に1、ほ~る3、か1、か2、た1、た3、そ1~そ7、ね2~ら
89 ろ2、ろ6、は2、ほ~へ2、ち1~る1、わ、か、た、そ1~つ3、ね~な
3、ら2~う2
90 ろ1、に2、へ、と1、り、る~わ2、か、た1~れ1、そ1~つ4、う2~
く、え3、え4、て1、て2
91 い~へ1、へ3、と1~ぬ2、わ1、つ1、つ2、ね1、ね2、む2、む3
92 い、ろ、ほ~へ8、ち4~ぬ3、ぬ5~わ9、か3、か5
93 は2、は3
94 に2、ほ、ち1、ち2、ち4~り4
95 い1~い3、ぬ3~ぬ5、る1、る2、か1
96 い、は~ち1
97 い、ろ、に、か1、か2、か5、か6、た1~れ
98 は~に2、に5、ち1、り4、り5、ぬ、か2、よ2、た~そ1、ね1~ね4
99 い1、に1~へ2、ぬ1、ぬ2、ぬ5、る2~る4、た、な、む1、む2、お1
100 は~へ、ぬ1~る3、わ1、わ2、わ4~よ、れ、そ3、つ、な、む2、の
1、の3、お1、く~や2、ま、ふ1~こ、ゆ1~め1
101 い1、い3、に~へ、る1、る5、わ1
102 い、は1~は4、に4、ち1~り、る1、そ、や1~け
103 い4、に2~り2、り4~り6
104 い、は、に、ほ2~ほ6、そ、な、ま3、け~え1、き
105 ろ、へ、と、り~る1、わ~そ、ね、ら1、の1~く、え
106 い~ろ2、る1、る2、よ、た1、つ1、つ2、う1、の~ま1、ま3、け、

ふ
 107 い1、ろ、に1~と、ぬ
 108 は、ほ、と~り、る2、わ、つ1~つ4
 109 い1、い3、い4、へ1~と、る1~る3、る5、れ、つ、な1、な2、む~
 う2
 110 い、ほ5、る1、る2、か2、そ1、そ2、ね1~ね3
 111 い、ろ、へ1、と、ち2、り3~り7、か2、か3、う6、の1~の5、お2、
 お5~お8、く1~や3、ゆ1~め1、ひ2
 112 い1~に、と、ち、る1、る2、か、よ1、よ5、よ6、よ9、た1
 113 に、と
 114 い1、ち3、り
 115 ろ1、ろ2、は1、に3、に4、へ6、へ7、と、り1、ぬ、わ2、わ3、わ
 9、わ10、か、よ
 116 ろ2~ろ4、は2、に4、に5、ほ2、ほ3、へ2、へ4~と3、と5~と8、と
 11、と12、と14~ち、ぬ1、か~れ
 117 ほ、へ1、へ4、と、ち2、ち3、つ、ら、う2
 118 ろ3、ろ4、は1、は3、は5、に1、ほ、ぬ1~ぬ3、ぬ5、ぬ12、ぬ13、
 る2
 119 る
 120 に、る1、る2
 121 は、ほ、へ、ち1~ち3、る2、る3、か1~か4、た1~た3、そ~ね2、
 ら、う1
 122 へ1~へ8、ち
 123 ち、り2、つ
 124 い1、ろ1、は2、へ1
 125 い1、に、り1~り3、わ1、わ3、か1、か2、か4~か8、か10、か12、
 か13、た1
 126 は1、は2、ほ、と、ち1、ち4~ち6、る1、わ1、わ2
 127 い~に、へ2、ち、り、る1~る5
 128 い1、へ1、へ2、ち1~ぬ、る3、わ1、わ3~わ5
 129 い1~い3、に1、に3、と~る1
 256 い、ろ、に、ほ、と~ち2、ぬ、そ、ね1、ね2、な、む2、う1、お、
 く、ま1
 258 い~に6、ほ~と、わ2~よ1、た、な2
 266 ろ2、は、ほ、ち、る3、る4、れ2、な1、な2、む1~む3、の1、の3、
 お1、く3、ま~こ1、え、あ~め2、し、ひ
 267 い~へ、わ1、か1、そ、つ、お2~く
 268 い1~た
 269 へ~ち、わ1~わ3、よ、そ~ら2、む3~や
 270 い~へ、ち、ぬ、る1、か、た、れ、ね~ら、う、の1、く~や4、け1
 ~ふ、え、あ、き、め
 271 ろ、は、に2~に6、ほ1~へ、ち1、ち2、ち4~か2、た1~な2、ら3~
 う1、お1~や2、や4~け2、ふ2~こ3、て1、て2、き、ゆ、み、し1
 272 り~る1、た1~た4、そ、つ、お、く、ま1~ま5、け~こ
 273 い~は、ほ、ぬ2~か、よ2、う1、う4、の、く、け4~こ、あ、さ

4 林道等の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考	
基幹	改良	鬼ヶ頬・鎌田(鬼ヶ頬)	34外	300		
		茗荷(鹿又)	25外	200		
		大森	13外	2,000		
		旗宿・金山(伊香沢)	1外	200		
		茗荷(茗荷)	60外	300		
		追分	74外	100		
		桶地	71外	100		
		ヤギ沢(追分)	76外	100		
		鬼ヶ頬・鎌田(鎌田)	50外	500		
		ヤギ沢(千泥)	81	100		
		黒下	111外	100		
		坂下	110外	100		
		大根屋敷	267外	100		
		小計	13路線		4,200	
その他	開設	追分	73	800		
		大沢	73	1,030		
		石堀子	103外	2,100		
		四時川	93外	3,000		
		オカスノ沢	97	2,100		
		坊木支線	97外	1,000		
		長久木	95	600		
		ドバ沢	95外	1,800		
		小計	8路線		12,430	
	改良	近津	36	100		
		極楽沢	30外	500		
		厨川	7外	100		
		高内	4外	200		
		細窪支線	5	100		
極楽沢支線		29	200			
戸中		5外	200			
高内支線		5	100			
中ノ沢		19外	100			
白子川	13外	200				

	厨川支線	9	200	
	大森支線	12	100	
	小太郎沢	32	600	
	日山沢	33	500	
	不動沢	1	200	
	樺沢	11	700	
	樺沢支線	11	100	
	高笹山	62外	200	
	地の平	61外	200	
	宝地	68	100	
	千殿	78外	100	
	片貝	91外	200	
	坊木支線	96外	100	
	折籠	100外	100	
	茗荷支線	57外	200	
	矢塚	89	100	
	北沢	53	500	
	畑の沢	51外	100	
	矢殿	88	100	
	石堀子	95外	200	
	御殿山支線	91	100	
	茗荷分線	57	100	
	八溝川	57外	100	
	朝日山	123	100	
	青生野	125	100	
	越虫	115外	100	
	井堀	121	100	
	唐露	258外	100	
	草木	271	100	
	小計	39路線	7,300	
計	開設	8路線	12,430	
	改良	52路線	11,500	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

5 治山に関する事項

位 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
29、30	棚 倉 町	保 安 施 設	溪 間 工	1か所
58、62	矢 祭 町		山 腹 工	1か所
272	鮫 川 村		山 腹 工	1か所
合 計		保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	2か所 2か所

(注) 1 か所数は単位流域を1か所として集計。

(注) 2 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	八 溝 山 シロヤシオ	43.59	60と	八溝山の東斜面に位置するミズナラを主体とする林分の尾根筋に生育し、南東北及び関東地方において他には類を見ないシロヤシオの群落である。	
計	1か所	43.59			
合 計	1か所	43.59			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域 該当なし。

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積 該当なし。

8 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	八溝	138.72	25 に、か、ね	峰越林道真名畑・八溝線が通る八溝山山頂周辺には、ブナやミズナラの広葉樹林が広がり通行者に近景林として景観を提供しているほか、山頂にある八溝嶺神社に訪れる参拝者や観光客に四季折々の眺望を提供している。	育成複層林へ導くための施業（以下「育成複層林施業」という。）	既存の施設なし。	国が実施する施設整備の計画なし	
			24 り1～ぬ 25 は、わ1、わ2、れ～ つ 26 へ3、そ6 54 ぬ2、る2、る3、わ2 ～わ4 55 わ、か 60 ち、り		天然生林へ導くための施業（以下「天然生林施業」という。）			
			25 イ1、イ2 54 イ1～ロ5		林地以外			
計	1か所	138.72						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
森林スポーツ林	山本不動	64.35	36 ち	久慈川支流の宮川の清流と急峻な岩肌に自生するマツと広葉樹の景観が優れており、自然探勝、キャンプ等に利用されている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：棚倉町 ・野営場 ・園地	国が実施する施設整備の計画なし	
			36 い、へ、と、り～わ 38 ほ～ち					
			36 イ、ロ 38 イ～ロ2					
計	1か所	64.35						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	ふれあいの森林園地	3.57	10 る	単独レクリエーション施設	天然生林 施業 林地以外	実施主体：棚倉町 川越市 ・休憩施設 ・衛生施設	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			10 イ 11 イ、ロ					
	埴町自然 体験の森	0.33	86 る3 (内)	〃	天然生林 施業	実施主体：埴町 ・研修棟 ・雨天活動場	〃	
計	2か所	3.90						
合 計	4か所	206.97						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし。

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	那須道 A 種 収穫試験地	昭和13年2月	3.92	13 ち	成長量・収穫量及び その他の統計資料を 収集し、林分構造の 推移の解明 (ヒノキ)
	広葉樹人工林の 育成施業の検討	平成26年4月	5.74	18 い3 20 ほ2	広葉樹人工林の育成 施業の検討
	超緩効性肥料を 用いたエリート ツリー等コンテ ナ苗試験地	令和7年4月	2.26	108 つ	エリートツリー等コ ンテナ苗について、 植栽後も効果を発揮 する超緩効性肥料を 育苗時に用いた成長 促進効果、植栽適地 等の検証を行うとと もに5年後の実用化 を念頭に再生林の低 コスト化の可能性に ついて検証する。
試験地計			11.92		
展示林	針広混交複層林 施業展示林	平成16年4月	4.88	18い3	スギ人工林の間伐 後、下木に広葉樹を 植栽して複層林へ導 くための施業を実施 した林分を長期的に 存置し、森林施業の 研修・広報等に利用
	景観保全試験 展示林	平成16年4月	8.26	22い	景観への配慮のた め、スギ人工林の間 伐とともに、広葉樹 を保残・育成した林 分であり、森林施業 の研修・広報等に利 用
	低密度植栽 展示林	平成16年4月	3.14	31つ2	
展示林計			16.28		

次代検定林	一般検定林 (関前第21号)	昭和49年5月	0.61	59り1	遺伝的生産能力の検定(スギ)
	一般検定林 (関前第37号)	昭和51年4月	1.35	74よ3、よ4	遺伝的生産能力の検定(アカマツ)
	地域差検定林 (関前第22号)	昭和49年5月	0.46	59り2	精英樹種苗の生育に適した区域の選定(スギ)
	遺伝検定林 (関前第25号)	昭和49年5月	0.63	59り3	形質に関する遺伝的特性を解明(ヒノキ)
	遺伝検定林 (関前第55号)	昭和57年5月	1.10	258こ3	形質に関する遺伝的特性を解明(スギ)
	抵抗性検定林 (関耐寒風前橋営9号)	昭和60年4月	1.16	116ほ2、ほ3	気象の害に対する抵抗性品種の創出(スギ)
	育成集団林プロジェクト (関前第73号)	平成11年4月	0.68	58ろ4	第二世代品種としての検定・選抜(スギ育種集団林)
	育成集団林プロジェクト (関前第74号)	平成12年5月	0.78	20は5～は10	第二世代品種としての検定・選抜(スギ育種集団林)
次代検定林計			6.77		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
88 ロ 94 ろ	遊々の森 (矢塚希望の森)	設 定：平成21年10月 実施主体：埜町 面 積：2.36ha

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施業方法
85 に1、ほ〜と3、る2〜る4、れ、ね、な	59.12	育成複層林業 施
84 る1、る2	146.34	天然生林業 施
85 に2、ち〜る1、わ〜た5、そ1〜つ		
86 る2		
計	205.46	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。